

# ひととき通信



平成 29 年 8 月 10 日

## はじめに

当院では、ご家族の不安を少しでも軽減し精神疾患等の理解を深める機会として、ご家族様を対象に毎回テーマに沿った家族教室を開催しています。今回は下村憲司医師に「統合失調症について」というテーマで、お話ししていただきました。

病気の症状や治療などについて知識を身につけることで早期治療や再発予防につながるといわれていますので、ここで内容について少しご紹介したいと思います。

### 統合失調症はどんな病気？

- ・幻覚や妄想・引きこもりや意欲低下といった症状のため日常生活に支障をきたす。
- ・思考や行動、感情をまとめ統合していく能力の低下がみられる。
- ・一般的には思春期や青年期にかけて発症しやすいが、小児期や老年期に発症することもしばしばみられる。

※幻覚とは？・・・存在しないものを感じること  
幻聴（音や人の声など）が一般的。噂、悪口、命令などが多い。

※妄想とは？・・・ありえない又は実際はないことを真実として信じており、訂正が困難なこと。（被害妄想、誇大妄想など）

※脳腫瘍や外傷等による脳障害、薬物乱用等でも統合失調症同様症状をおこすことがある

### 病気のサインはどんなもの？

- ・不眠
- ・誰もいないのに人の声が聞こえる
- ・一人で笑う、会話するような独り言
- ・あまり外出しなくなり、生活が乱れる
- ・電磁波や薬に異常に敏感になる
- ・有名人や大きなニュースに自分が関係している感覚
- ・硬い表情、感情表現が乏しくなる
- ・集中困難、会話時に視線が合わなくなる
- ・周りの意見を聞き入れなくなる
- ・一方的な考え、被害的な考え
- ・話の内容がまとまらず、一貫性がなくなる
- ・・・など。



次回の家族教室は… 越智看護師による「関わり方について」のお話です。  
詳しくは外来等に置いてあります「家族教室について」のチラシをご覧ください。  
皆様のご参加をお待ちしています。

「ひととき」とは… 北駐車場の一角にある患者様の憩いの場です。面会の時に是非ご利用ください。

